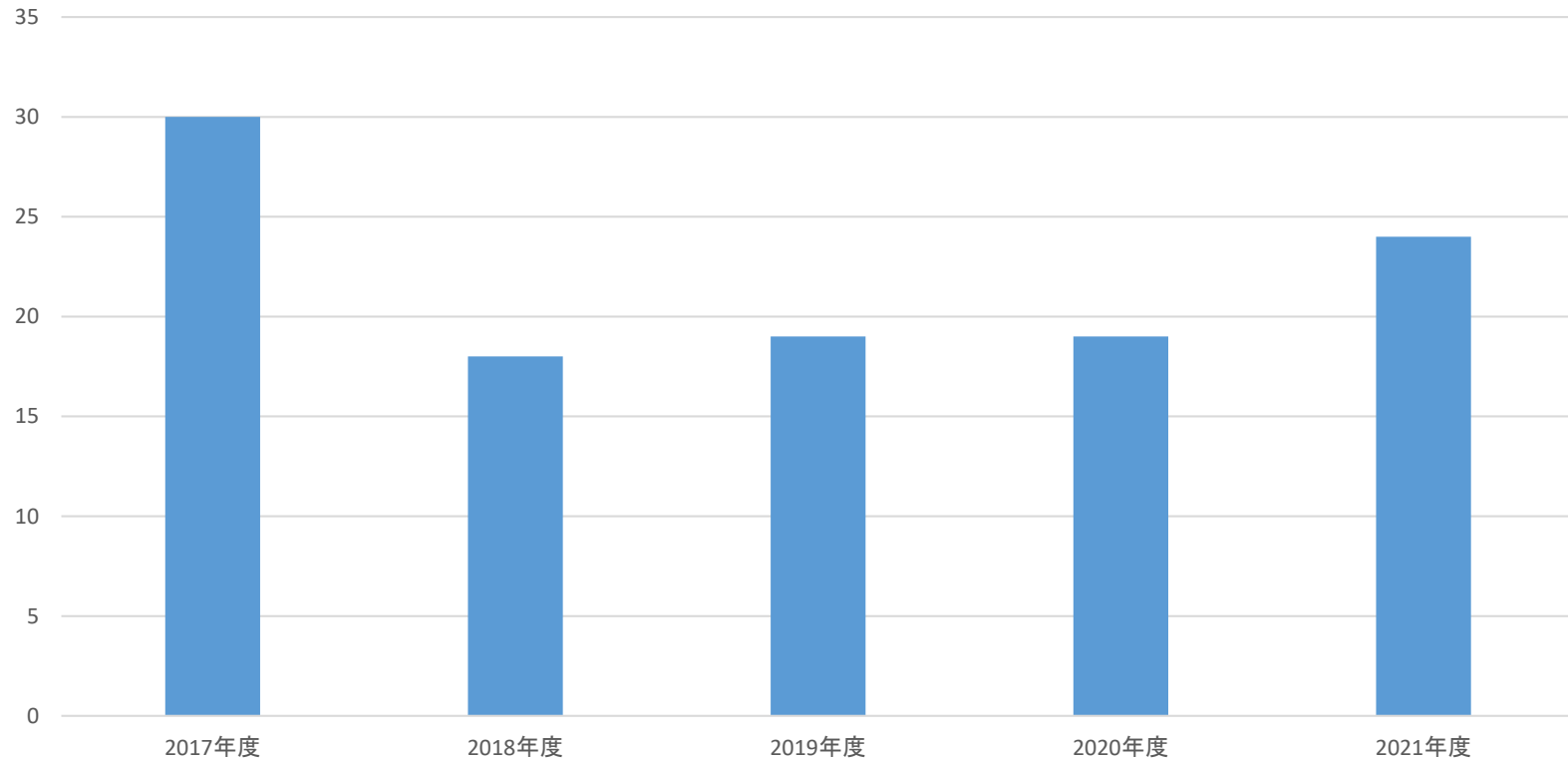


## 小児循環器科 年度別入院患者数



2017年から2021年のDPCデータをもとに作成

**【考察】**

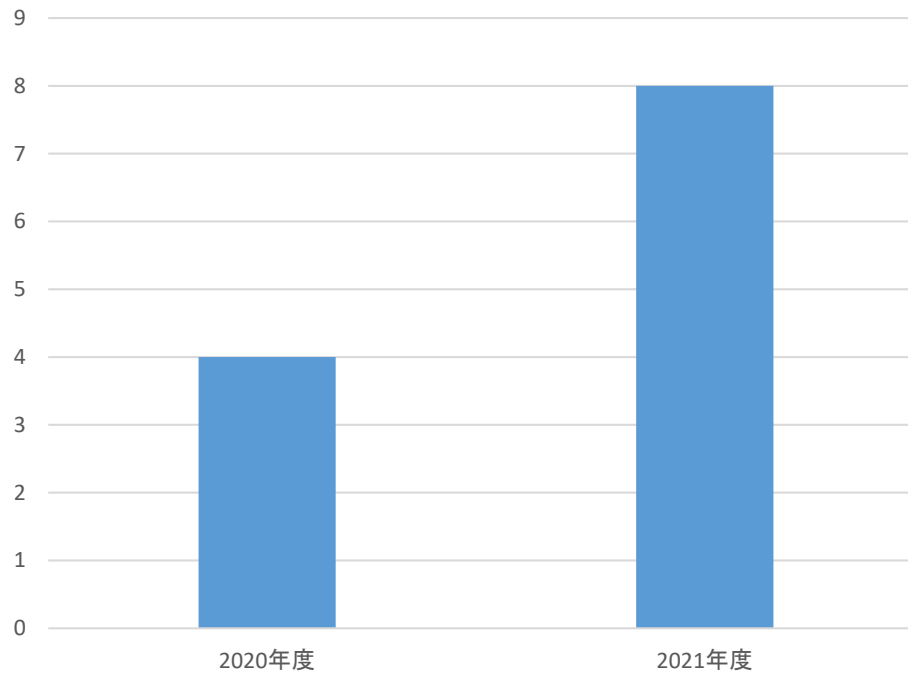
小児循環器専門医3名(県内2位)が在籍し、先天性心疾患、不整脈、川崎病後、心筋疾患など幅広い疾患、すなわち小児循環器疾患全般に対応しています。対象は胎児から小児期全般まで、一部の先天性心疾患では成人まで幅広く診療しています。当科の活動は、院内外の幅広い部門の協力を得ながら行っており、PICU(小児集中治療室)・NICUに入院時はPICU・NICUが主科となっているため、この表の数は氷山の一角です。胎児については母上のお腹の中におり、入院時は産科の病棟です。

2017年度から2021年度における小児循環器科の入院患者数  
医療資源病名別TOP10

順位	医療資源を最も投入した傷病名	医療資源を最も投入した傷病名のICD10コード	患者数
1	心室中隔欠損症	Q210	12
2	単心室症	Q204	11
3	発作性上室頻拍	I471	8
4	川崎病性冠動脈瘤	M303	6
5	フォンタン術後症候群	I971	5
6	完全大血管転位症	Q203	4
7	蛋白漏出性胃腸症	K904	4
8	肺高血圧症	I270	4
9	ファロー四徴症	Q213	3
10	後天性動静脈瘻	I770	3

2017年から2021年のDPCデータをもとに作成

## 小児心臓外科 施行手術件数の推移



2020年・2021年のDPCデータをもとに作成

### 【考察】

当院では先天性心疾患の開心術を2020年に開始し、順調に症例を重ねています。手術は埼玉医科大学3病院チームの総力を挙げて施行する体制です。症例毎に最適な治療計画を立てますので、どのような症例でもご相談をお受けしています。